



小児がん連携病院(仮称)について

10月3日に、神奈川県立こども医療センターにおいて、第6回関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会相談支援部会が開催されました。今回の部会では、小児がん連携病院(仮称)に求められる要件についての説明があり、右記の通り3つの類型が示されました。

小児がんの治療ができる病院は、大人に比べると数が少なく、すべての都道府県に拠点病院を置くことができないという事情があります。そこで、小児のがん治療においては、全国を7つのブロックに分け、都道府県単位よりも広い地域で均てん化を図るようにしています。また、小児がん連携病院の考え方は、小児のがん治療に対応できる病院を、いかに効率よく活用するかということです。当院では、小児がん連携病院の類型のうち、拠点病院と同等程度の医療が提供できる病院として指定を受ける予定になっています。

①地域の小児がん診療を行う連携病院

標準治療が確立しているがん種について、拠点病院と同等程度の医療が提供できること。

②特定のがん種についての診療を行う連携病院

- (1) 特定のがん種について、患者の状態に応じた適切な医療が提供できること。
- (2) 粒子線治療等を提供していること

③小児がん患者等の長期の診療体制の強化のための連携病院

小児がん患者等の長期フォローアップが可能な体制を有するとともに、適切な医療が提供できるか、自施設で対応が難しい場合には、拠点病院等の適切な病院に紹介する体制を整えていること。

次回 12月ワーキングサポート(仕事に関する相談・勉強の会)

12月5日(木), 12日(木), 19日(木)

17:00~18:00【参加費無料】

お問い合わせは、がん相談支援センターまで

がん専門ファイナンシャルプランナー来院!

10月25日(金)にがん患者セミナー&Cafeを開催しました。当日はお昼にかけて大雨でしたが、患者さん、ご家族、共催のげんきの会(当院小児科親の会)病院関係者等11名に参加いただきました。今回は「**がんとお金~治療中の家計を考える~**」をテーマに看護師経験のあるファイナンシャルプランナー(FP)を講師にお招きし、日頃の相談対応事例や、傷病手当金、障害年金の制度説明、家計のやりくり方法など、暮らしや生活設計についてのポイントを教えていただきました。

「家計を整理するポイントがわかって良かった」「具体的に将来に向けた話が聞けて良かった」との感想をいただきました。終了時には雨も弱まり、みなさん笑顔で帰られました。



セミナー後の
カフェの様子

次回 患者セミナー&カフェ 1月24日(金) 14:00~15:30

「抗がん剤治療中の誤解! ? ~聞けそうで聞けないはなし~」

講師: 日本大学板橋病院 がん指導/専門薬剤師

日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 電話3972-0011(直通) 3972-8111(代表) 内線3169

相談対応時間 8:30~12:00, 13:00~16:00 予約受付時間 8:30~16:30